

宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和4年6月8日(水)
文責 校長 村田 浩彦

宝達っ子の自己肯定感を高めたい!

先日、NHKが行った「子ども・若者は何を思うか 1万人アンケート」によると、「今の自分に満足しているか」という質問に「とても満足」との回答が9.8%、「まあ満足」との回答が37.1%、合わせて46.9%と半数に満たない結果となったそうです。また、「自分の将来に期待をもてるか」という質問に「とても思う」との回答が13.2%、「まあそう思う」との回答が32.1%、こちらも合わせて45.3%だそうです。

先進国の中で日本にあってこの数値をどのように受け止めればよいでしょうか。あまり不自由を感じない生活にあって、気持ちは何か満たされないものがあるのかもしれないかもしれませんし、また、自分に自信がないのかも知れません。子どもたちに自信をもたせるには、子どもたちの自己肯定感を高める働きかけが大切です。



学校では、様々な活動を通して、自分で考え、思いやりを持ち、最後までやり抜く子どもの育成を目指しています。それによって自己肯定感も高まっていくと考えています。家庭でも、子どもたちの頑張りを認め、自己肯定感を高める声掛けをお願いいたします。

☆上の写真は、4月の下校と途中に、竹林で動けなくなっていたお年寄りを助けてくれた5年生です。手を引いたり、背中を押したりして助けてくれたそうです。後日、ご家族が学校にお礼のご挨拶にいらっしゃいました。

どんなボランティアができるかな??

「ヘッドネーション」をご存知でしょうか。病気や怪我などによって頭髪を失った人たちの中には、医療用ウィッグを使っている人がいます。医療用ウィッグは、人の頭髪を使って作られます。「ヘッドネーション」は、自分の頭髪の一部をウィッグの材料として寄付する仕組みのことです。人の頭髪はなかなか手に入りにくいいため、頭髪の寄付は大変重要な役割を担っているということだそうです。本校の児童の中に、小さい頃から大切にしてきた髪を「ヘッドネーション」として寄付してくれた児童が数名いるようです。なかなかできることではないですね。「ヘッドネーション」は女性だけでなく、男性でも行うことができるそうで、幼児の頃から髪を伸ばしている男子小学生が髪を寄付する事例もあるようです。「ヘッドネーション」は誰でもできる行為ではないですが、私たちにできる身近なボランティアは何か考えていきたいものです。



<全校集会で伝えたこと>

全校集会では、校長（先生）のお話を最初に行います。6月1日（水）の全校集会でお話したことについて紹介します。

右の写真は、おとなりの福井県に住む、大森陽生（おもりはるき）君です。先月、新聞やインターネットで話題になった、小学2年生です。

陽生君は、1年生の時に JAXA（ジャクサ、宇宙航空研究開発機構）が募集した宇宙飛行士に応募しました。応募資格はありませんでしたが、塾の先生に勧められて応募したそうです。陽生君が提出したエントリーシートには、自分の得意なことやがんばっていることなどが書かれていたそうです。小学1年生なので合格というわけにはいきませんでした。驚いたことに JAXA からお返事が来たそうです。集会ではそのお手紙を読んで聞かせましたが、勉強やスポーツを頑張ったり、学校の先生や親との約束を守ったりすることは宇宙飛行士になるためには大切なことだと書かれていました。

集会では、陽生君のエピソードをもとに、子どもたちには**自分の夢をかなえるために学校生活を頑張ること**をお話ししました。

以下のサイトで、大森陽生のニュースをご覧ください。

① Yahoo News

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8c477e33925d1eed567fc4b59ff7c43ed060b78f>

② 福井新聞 ONLINE

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1544297?f=y>



<SDGs (エス・ディー・ジーズ)>

2021年6月に公布され、2022年4月1日から施行となりました法律をご存じでしょうか。それは、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」という法律で、通称「**プラスチック資源循環促進法**」といます。製品の設計から廃棄物の処理まで、プラスチックの商流全てにおける

資源の循環等の取組を促進するための法律です。

学校教育にも、SDGsを取り入れることが求められています。まずは、今ある様々な教育活動をSDGsの視点でとらえなおし、理念だけでなく学校における実践・行動につなげていきたいと考えています。ご理解ご協力をお願いいたします。

※右の写真は、新しく設置した包装用プラスチックのごみ箱です。



<新型コロナウイルス感染症のお願い>

新型コロナウイルス感染症は未だに収束の気配がありません。感染拡大防止に引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

なお、児童やご家族の方がPCR検査を受ける（受けた）場合は、学校まで受ける（受けた）ことの電話連絡をお願いします。土日祝日など学校閉庁日には、宝達志水町役場に電話連絡をお願いします。

石川県のホームページに、無料検査についての情報を載せてありますので、そちらについてもご覧ください。下記のアドレスからご覧ください。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/ippankensa.html>